

令和5年2月 教育委員会会議録 第2回

日 時 令和5年2月9日(木) 10時00分～11時50分
場 所 坂町役場2階 研修室
出席者 教育長 枝廣泰知
委員 松村英勝・埤本友造・平沖純子・向井智恵
出席職員 坂本教育次長・藤原学校教育課長・福嶋生涯学習課長・吉田主事(記録者)

開会 枝廣教育長 開会を宣言する。

1 議事録署名委員の指名

枝廣教育長から、枝廣教育長と埤本委員を議事録署名委員に指名する。

2 教育長報告

(1) 令和4年度第2回広島県市町教育長会議について

枝廣教育長から資料をもとに、令和4年度第2回広島県市町教育長会議について概要を報告する。

各委員とも、質疑なし。

3 議題

(1) 議案第1号：令和5年度坂町教育行政方針について

坂本教育次長から、令和5年度坂町教育行政方針について、概要説明する。

各委員とも、異議なし。(議決)

(2) 議案第2号：学校における働き方改革取組方針の一部改訂について

坂本教育次長から、学校における働き方改革取組方針の一部改訂について説明する。

(埤本委員) 数年前、文科省が教員の働き方改革の方針を定めた際、その内容を見て「果たして教員の働き方改革になっているのか」と疑問を感じた。時間以外のことは前向きで改革になりそうなものだったが、時間に関しては現実とかけ離れており、驚くものばかりだったからである。資料として出されている「坂町立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」の「2 概要」「(2) 対象時間」「イ 上限時間」「(イ) 児童生徒等に係る臨時的な特別の事情がある場合(以下「特例」とい

う。)」には「1年について720時間以下」「1か月について100時間未満」等、驚く時間数ばかりである。こう思うのはおかしいのだろうか。

(坂本教育次長)

緊急時の安全確保などの事項への対応が「特例」に該当する。特例に該当しない場合は、「(ア) 原則」の「1年について360時間以下」「1か月について45時間以下」である。現状では時間外勤務時間数は多い。現在、多額の予算を使い各学校へ校務支援システムを導入しているが、職員もシステム操作にまだ慣れておらず、全体としての効果ははっきりしていない。校務支援システムを使用すれば、あゆみや通知表への転記確認が不要になるなどの効果があり、今後、職員の操作が慣れれば、時間短縮効果もでてくると考えられる。また、効率よく仕事を進められれば残業時間が減り、健康保持へと繋がり、心身ともに元気な状態で、子供たちの学びを支えることができる。今後、学校と共に考え、進めていきたいと考える。

(枝廣教育長)

学校における実態や改善状況についてはどうか、事務局から説明をしてください。

(藤原学校教育課長)

各学校どのくらい超過したかを学校からの報告により把握している。小学校の教員は一日中子供と共に活動し児童が帰ってから仕事や明日の準備を始めるため、定時は16時45分だが、やはり実際は定時で帰宅するのは厳しい。中学校の教員は、小学校と異なり空き時間はあるが、担当するクラスや生徒の実態、学年などそれぞれ違うため、その分教材研究や資料の準備に時間がかかる。同じ学年であれば授業構成や教材を1つ作って活用できるが、違う学年であれば毎回作る必要がある。特別支援学級に関しては、学年だけでなく科目も複数担当する。また、中学校では部活動指導もあるため、小学校より中学校の方が超過勤務が多い傾向がある。

坂本教育次長が述べたように、今年度から校務支援システムを稼働し始めた。坂小学校の昨年度と今年度の同時期を比較すると、1か月あたりの超過勤務が1人につき10時間程度削減された。学校も教育委員会も工夫している。

(埴本委員)

「3. 目標」の「(2) 超過時間の縮減」に「在校等時間から、正規の勤務時間を除いた時間を原則月80時間以内とする。」とあるが、資料「坂町立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」の上限時間「1か月について45時間以下」と時間数を揃えなくて良いのか。

(坂本教育次長)

80時間が、いわゆる「過労死ライン」と呼ばれる時間数であり、まずはそのラインにある教員を減らすことを最優先するものである。

(枝廣教育長)

この件については、目標設定をして進めていく必要がある。諦めるのではなく、少しでも意識することが大切だ。

(埴本委員)

昨年、坂小学校の木村校長と話した際「教員の残業時間を減らしていきたい。」とかなり強く言われていた。もちろん教育委員会からの指導

もあるのだろうが、木村校長の気持ちの表れかとも思う。

(松村委員) 学校によっても実態は異なる。教育委員会が率先して方針を出すことは非常に良いことである。

各委員とも、異議なし。(議決)

4 その他

(松村委員) 近頃、マスクの着用について様々なメディアで報道されているが、坂町として、何か変える必要はないのか。

(枝廣教育長) 「備えあれば患いなし」と言うように、基本的にはマスクを着用し、感染対策を徹底することに変わりはない。各小中学校長に対しても、そのように指導している。

閉会

枝廣教育長

閉会を宣言する。